令和８年度 成瀬地区自治会連合会と民生委員・児童委員、
包括支援センター、学校との意見交換会を開催



日　時　令和８年９月２日（水）午後６時～
場　所　成瀬公民館
参加者　成瀬地区自治会長　　（１７人）
民生委員・児童委員　　（３２人）
北・東部包括支援センター（　４人）
成瀬中、成瀬小、石田小、緑台小
校長先生　（　４人）

目　的　超高齢者社会を迎え、生活困難者や買い物難民・高齢者の一人暮らしへ、地域内での手厚い寄り添い活動が求められる中、頻発する地震や豪雨等の自然災害への支援体制も急がれています。

また、大きく変化する社会環境の中で「未来を託す子供たち」を、地域でどう見守り支えていくのかが問われています。

このような地域課題の克服に向け、地域自治を支える自治会と、地域福祉を支える民生・児童委員や包括支援センター、教育の中心となる学校と、お互いの活動を理解し、今まで以上に連携できる環境を整え、同じ方向へ進むことが大切であり、地域一体となった「高齢者・子供たち」を支える体制構築の場として、意見交換会を開催しまた。

＜第一歩はお互いの顔を知ること！　きづき　つなぐ　みまもる＞

自己紹介　包括支援センター及び各学校から取り組み事例や話題等の紹介
講　義　民生委員・児童委員の役割と成瀬地区の課題等について
成瀬地区民生委員・児童委員協議会会長　白鳥 勉
意見交換　３小学校区（成瀬小①②、石田小、緑台小）に別れ意見交換会を実施
・自己紹介　・自治会とコミュニケーションは取れているか
・学校とのつながりは　・高齢者へのサポート対応について　・その他
成　果　お互いの人となりを知ると共に、自治会・民生委員・包括的支援・学校の活動を話し合う中で、各団体が抱える課題を理解し、高齢者や子供たちの見守り活動等の向かう方向性を共有することができました。





